

●●●2023年10月～12月期 栃木県中小企業景況調査(178回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況

D I 値
-16.9
 ※全国 -18.9

業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(7-9月期)と比較し悪化(-10.0→-16.9)となったものの、3期連続で全国平均を上回る結果となった。また、業種別に見ると全ての業種で悪化となったが、来期は小売業で大幅な改善となる見込みである。

仕入単価は、製造業で76.0ポイント、建設業で52.7ポイント、小売業で82.5ポイント、サービス業で72.9ポイントと各業種で高止まりが続いており、各業種の経営上の問題点の第1位にあげられている。

来期は、県内全体の業況は4.8ポイントの改善となる見込みであるが、4期ぶりに全国平均を下回る見込みである。業種別に見ると製造業、サービス業がほぼ横ばい、建設業は11.5ポイントの大幅悪化、小売業では23.9ポイントの大幅改善が見込まれている。

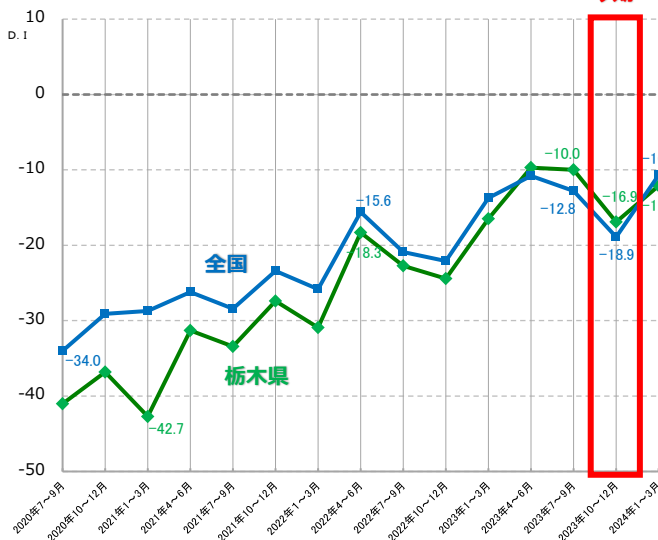
～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

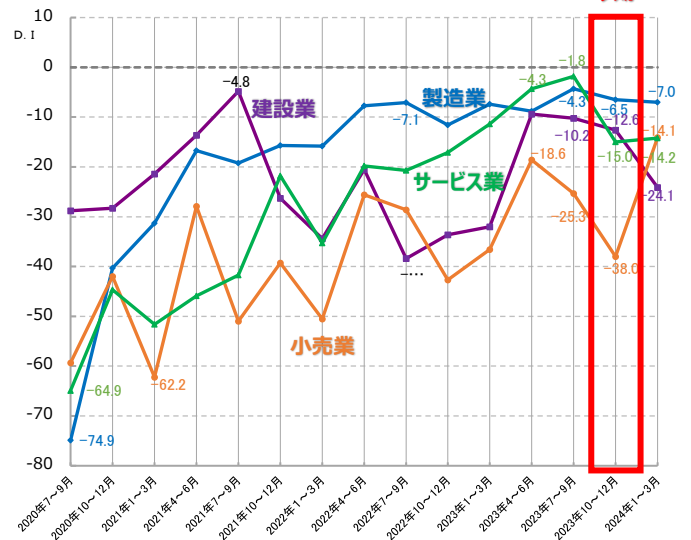
業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	D I 値	-6.5	-3.5	76.0	0.0	-3.4	-7.0
業況：前期から2.2ポイント悪化し、来期はほぼ横ばいの見込み							
建設業							
	D I 値	-12.6	-42.1	52.7	-26.3	-21.0	-24.1
業況：前期から2.4ポイントの悪化、来期は11.5ポイントと大幅悪化の見込み							
小売業							
	D I 値	-38.0	-14.6	82.5	-32.5	-9.8	-14.1
業況：前期から12.7ポイントの大幅悪化、来期は23.9ポイントと大幅改善の見込み							
サービス業							
	D I 値	-15.0	11.9	72.9	-18.9	-8.8	-14.2
業況：改善傾向だったものの13.2ポイントの大幅悪化、来期は横ばいの見込み							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

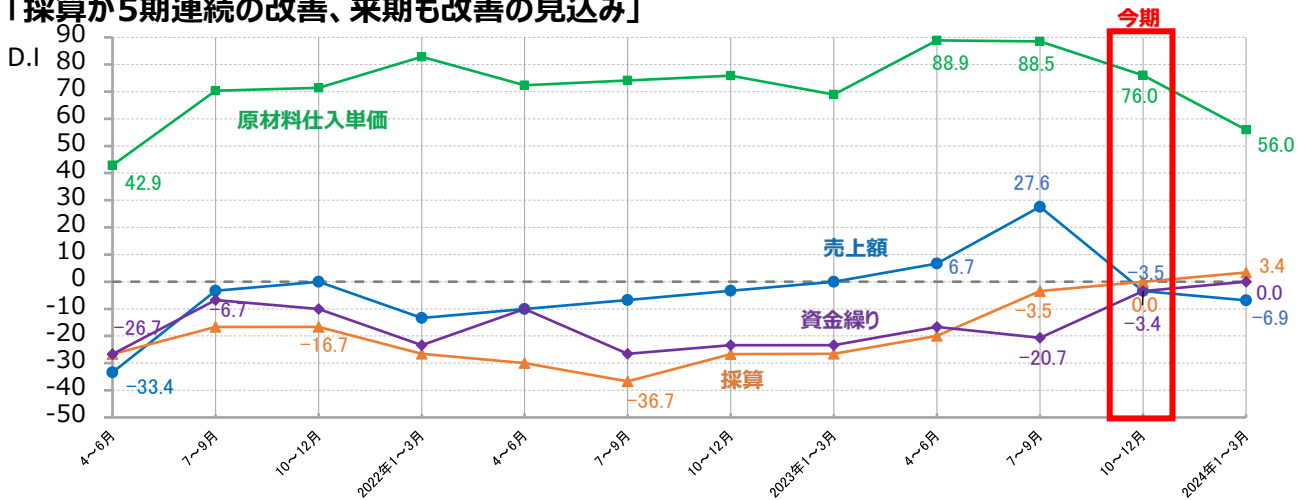


業種別業況の推移



製造業

「採算が5期連続の改善、来期も改善の見込み」

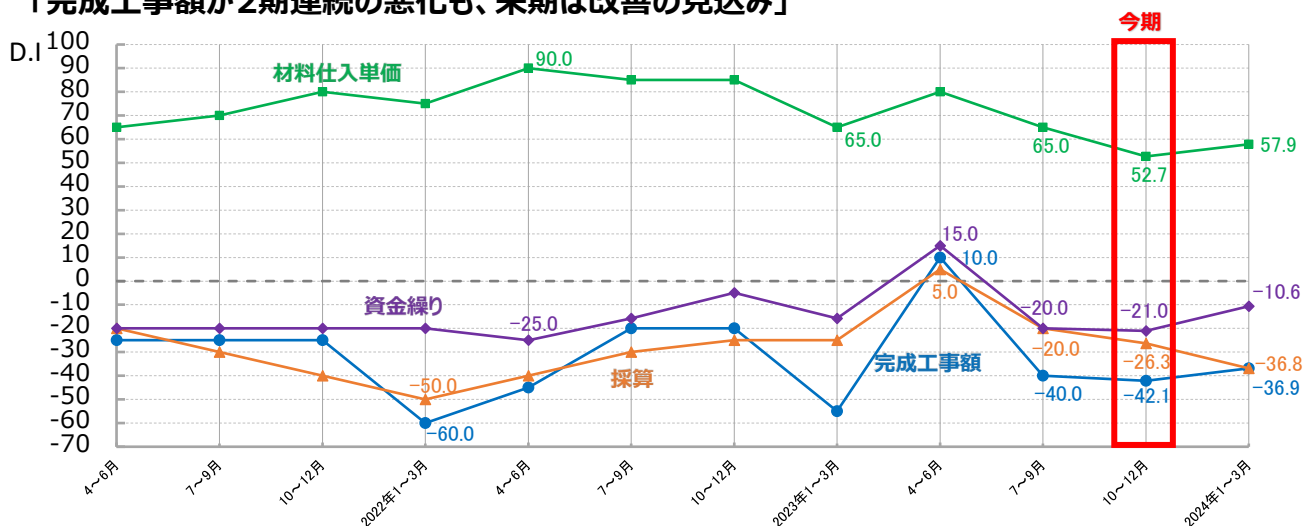


「採算」は3.5ポイント (-3.5→0.0) の改善となり、5期連続の改善となった。来期も3.4ポイント (0.0→3.4) と改善の見込みである。6期連続で改善していた「売上額」は、31.1ポイント (27.6→-3.5) の大幅悪化となり、来期も3.4ポイント (-3.5→-6.9) の悪化が見込まれる。高止まりが続く「原材料仕入単価」は、12.5ポイント (88.5→76.0) の大幅改善となった。来期も20.0ポイント (76.0→56.0) と大幅な改善が見込まれるものの、依然として高止まりは続く見込みである。「資金繰り」は17.3ポイント (-20.7→-3.4) の大幅な改善となった。来期は3.4ポイント (-3.4→0.0) と改善の見込みとなっている。

- 【経営上の問題点】 第1位： 原材料価格の上昇 (34.2%) 第2位： 需要の停滞 (20.3%)
 第3位： 原材料費・人件費以外の経費の増加 (7.6%) 第4位： 生産設備の不足・老朽化 (6.3%)

建設業

「完成工事額が2期連続の悪化も、来期は改善の見込み」

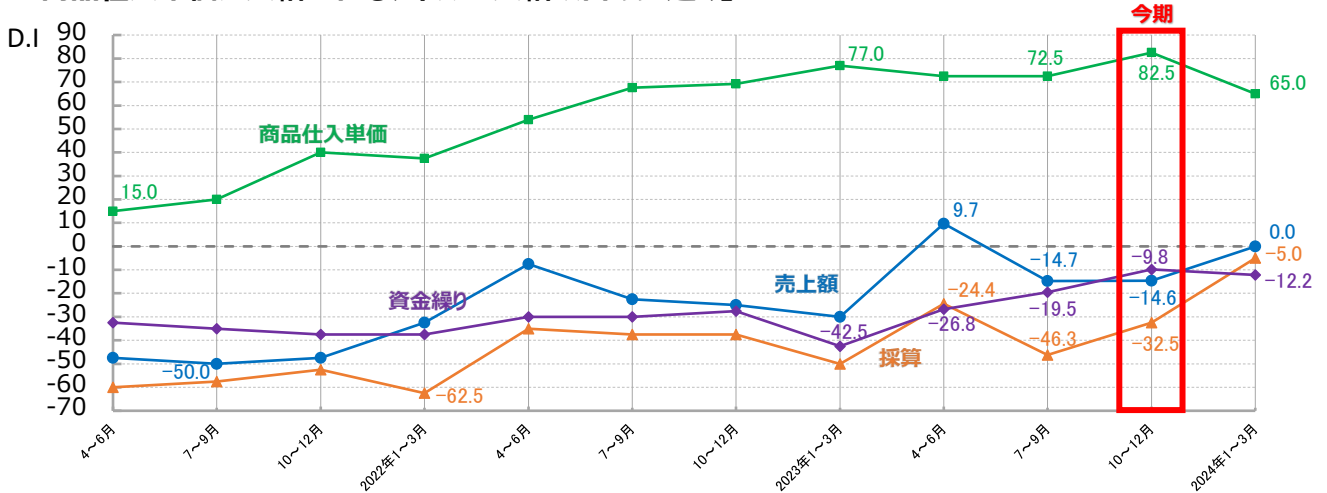


「完成工事額」は、2.1ポイント (-40.0→-42.1) の小幅な悪化となったが、来期は5.2ポイント (-42.1→-36.9) の改善となる見込みである。「採算」、「資金繰り」についても2期連続の悪化となった。「採算」は6.3ポイント (-20.0→-26.3) の悪化となり、来期も10.5ポイント (-26.3→-36.8) の大幅悪化となる見込みである。「資金繰り」は1.0ポイント (-20.0→-21.0) の小幅な悪化となり、来期は10.4ポイント (-21.0→-10.6) と大幅改善の見込みである。「材料仕入単価」は、12.3ポイント (65.0→52.7) の大幅な改善となった。来期は5.2ポイント (52.7→57.9) の悪化が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇 (22.6%) 第2位： 従業員の確保難 (22.6%)
 第3位： 材料費・人件費以外の経費の増加 (19.4%) 第4位： 下請単価の上昇 (9.7%)

小売業

「商品仕入単価が大幅悪化も、来期は大幅改善の見込み」



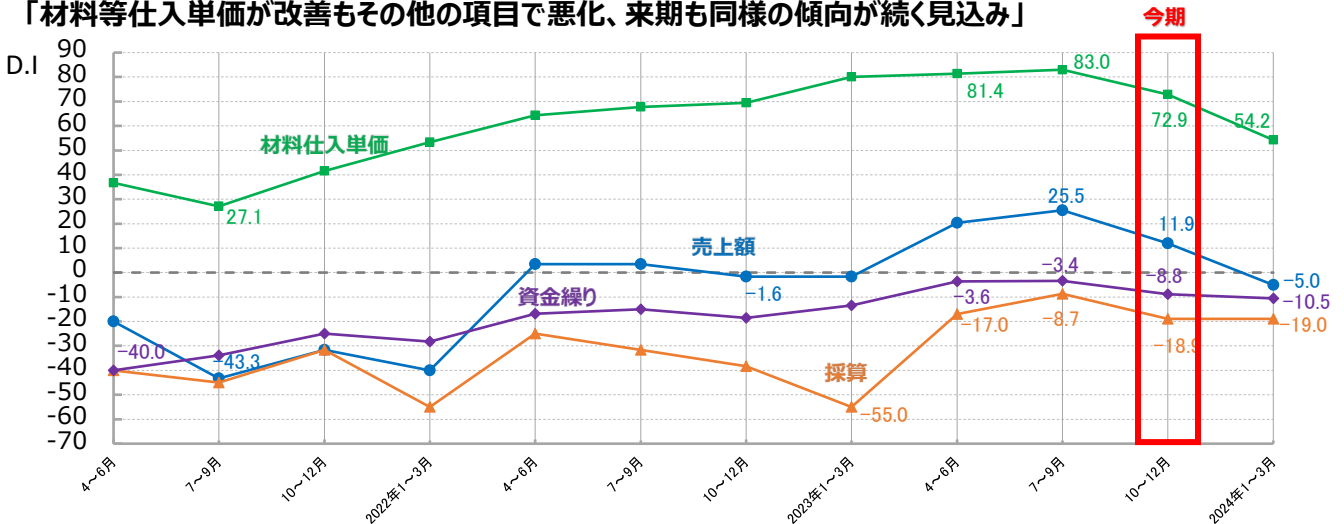
「商品仕入単価」は、10.0ポイント（72.5→82.5）の大幅悪化となったが、来期は17.5ポイント（82.5→65.0）の大幅改善となる見込みであるが、依然として高止まりがづく見込みである。「売上額」は、横ばい（-14.7→-14.6）となった。来期は、14.6ポイント（-14.6→0.0）の大幅改善となる見込みである。

「採算」は、13.8ポイント（-46.3→-32.5）の大幅改善となり、来期も27.5ポイント（-32.5→-5.0）の大幅改善となる見込みである。「資金繰り」は、9.7ポイント（-19.5→-9.8）と3期連続の改善となったが、来期は2.4ポイント（-9.8→-12.2）の悪化が見込まれる。

- 【経営上の問題点】
- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 第1位：仕入単価の上昇（30.5%） | 第2位：消費者ニーズの変化への対応（13.6%） |
| 第3位：需要の停滞（13.6%） | 第4位：人件費以外の経費の増加（11.9%） |

サービス業

「材料等仕入単価が改善もその他の項目で悪化、来期も同様の傾向が続く見込み」



「材料等仕入単価」は10.1ポイント（83.0→72.9）と大幅な改善となった。来期も18.7ポイント（72.9→54.2）と大幅な改善が見込まれる。

「売上額」は13.6ポイント（25.5→11.9）の大幅悪化、来期も16.9ポイント（11.9→-5.0）の大幅悪化が見込まれる。「採算」は10.2ポイント（-8.7→-18.9）と大幅な悪化となった。来期は0.1ポイント（-18.9→-19.0）と横ばいになる見込みである。改善傾向にあった「資金繰り」は一転し、5.4ポイント（-3.4→-8.8）の悪化となった。来期も1.7ポイント（-8.8→-10.5）と小幅ながら悪化となる見込みである。

- 【経営上の問題点】
- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 第1位：材料等仕入単価の上昇（34.8%） | 第2位：店舗施設の狭隘・老朽化（10.9%） |
| 第3位：人件費以外の経費の増加（10.9%） | 第4位：利用者ニーズの変化への対応（9.8%） |

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・足尾町・益子町・茂木町
市貝町・壬生町・藤岡町・喜連川・那須塩原市

○調査時点

2023年11月15日

○調査対象期間

2023年10月～12月期の実績及び、2024年1月～3月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	29	19.6%
建設業	19	12.8%
小売業	41	27.7%
サービス業	59	39.9%
合計	148	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

次の100年も
ここに商工会

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875